

新察斗勝利、中教審答申粉碎、明大民主化に決起しよう

全明大學友に都寮連より訴える

御々、大學の學は、憲法、政治基本法に明
記された「教育の機会均等」の原則を確
保薦として、また、生徒の尊厳を一神とな

（四）希望者全員の入れる民主的新組織を造り、
・虚幻的宣傳、
・第二回東京即時連記、
・東京新報社説、
・人件水、火災賠償費算定法、
・入保實業部、
・各業者会公認、顧客登録の事、

じる。また、専修大學主田寮の如く、寮自殺者が全くない寮は多數を占めている。

この如きの原因、私見、自己愛の反対的且つ根本的な文化教養、私的教育の責任固だ。私は経営者の誠意と主張に民主的開拓思想支配にあることは明白であり、彼が、これを実現せしむるにむけたことは喜ばれる。

11 新京罕期無条件入寮実現！
・入寮選考权・退寮权を寮生の手に
・新一年生の入寮を認めよ！
・寮生の自治規約を認めよ！

口教育の進行などと相まつて、県生要生の中
で「も」と多くの新聲を、「完全自活を」
「水無無聲校樂組」等の声次湧きあがるの
は当然のことである。

は「不法入居者」のレッテルがはられていた。また祭主の手にあるべき入寮退居権がすら尊生課の手中にあり今晩の自主退居に關しては「不法入居者」のレッテルがはられていた。

現在の明治大学の学祭は、あるべき学祭の姿
をもたらす。たくかけ離れ、人情的な生活と學問を
追求するものではなくっている。例えば吉祥院

寮生の要求は何か

大學寮度の大學當局、
的に支持し、その実現
に、全ての明治大學の
訴えるものである。

全明大の寮友へ工部
II 節・春羽・中山・松
新寮無条件入寮実現等
に集めて過去数年来
今、生田と春羽、吉祥院
展開されんとしており
動き、反全学連講演の
策動と関連して重要な
事態が発生する

全明治大の学友謹君ノ

遂に江一郎は即ち「お前が嘗てへそを奪われ、
へゝ、大變苦心の本業耳」などと、くわばかの參詮
が出来てゐる所が第一點でして、不謹入院院長であ
る事も、その點で見えてゐる所だ。したがつて、
いふに於ては、即ち江一郎自身に暴闘された頭大
風、即ち反対思潮、反民主思想、守生畜死的適應
して體にいたる所以である。これが、江一郎、頭
痛理學家としての學生の體質を察せ

(2) 明治当局、政府の貪圖反動学寮政策を糾弾する

勝利は我々のものゝ。
國會開院式、
は演説をせよ」との要求の裏に、
國大當初、英國が中國軍事上、
經濟上、政治上、文化上、
に對して干涉を爲してゐた點が、